



第78回青葉ヶ丘祭

生徒のパワーで暑さも吹っ飛ばす！

7月5日（土）～6日（日）の2日間、学校祭（青葉ヶ丘祭）を行いました。両日とも初夏の澄んだ青空のもと、生徒は準備してきた成果を存分に発揮しました。

初日は各年次が企画・創作したパフォーマンスが繰り広げられました。また2日目には一般公開で沢山の方々に御越しいただきました。クラス企画では各年次がたこ焼きやパンケーキ等の販売を行った他、校舎前ではPTAの保護者と有志の方々による「焼き鳥」等の販売が行われ、大盛況となりました。

その他には「地理探究」という授業の選択者による「森町の防災について」の発表や音楽選択者による演奏発表が行われる等、学問的・文化的要素も含まれた内容も加味することができました。

最終日の夜には青葉ヶ丘公園での花火が打ち上げられました。森町の夜空に舞う鮮やかな色彩に生徒は歓声を上げ、訪れた町の方々と一緒に楽しい思い出を共有することができました。

今回 花火に協賛いただきました各企業の皆様、お忙しい中ご来場いただいた岡嶋町長をはじめとするご来場の皆様、そして素晴らしい演奏で学校祭に花を添えてくれた森中学校吹奏楽部の皆様等、ご協力いただきました全ての方々に厚くお礼申し上げます。

森高校はこれからも「地域とともにある学校」を目指していきます！



<学校祭を終えて>

生徒会長 菊地 桃花（3年）

まず何よりも無事に第78回青葉ヶ丘祭を終えることができて本当に良かったなと思います。今年の学校祭では、飲食物の提供ができるようになったり、催し物の8～9割を屋内で行うようになったりなど、昨年とは異なる点が多くあり、運営する側としてすごく不安でした。しかし、それぞれの年次が個性的なステージを創り上げ、両日ともみんなが盛り上がり続けたので、最後まで良い雰囲気で行うことができて良かったです。

また、今年も青葉ヶ丘公園で花火を打ち上げることができました。ご協賛いただいた皆様、大変ありがとうございました。



DXハイスクール

デジタル活用で地域のために！

森高校では、令和6年度から文部科学省の推進事業である「DXハイスクール」の採択校になっています。これは高校生に情報技術や数学、文系と理系を横断する探究的な学びを提供することで、将来のデジタル分野で活躍できる人材を育成することを目的としています。

本校では今年度、1年次の学校設定科目「産業社会と人間」という授業で「森町でこれやりたい」というテーマのもと、生成AIの活用やデータサイエンスへの知識・理解を深め、「社会や職業に生かす力」や「将来の生き方や進路について考察する力」等を養っていきます。

6月30日に第1回目の授業が行われました。国際大学GLOCOMのスタッフの方を講師に招き、生徒は、生成AI「Gemini（ジェミニ）」を使い、そのしくみや利用上の留意点、効果的な質問の仕方などを学びました。

講義を受けた生徒達は、最初は試行錯誤しながら、それぞれのタブレットを操作していましたが、先生方のアドバイスを受けながら、徐々にコツをつかみ始め、途中からはお互いに教え合う光景も見られました。次回9月には

「情報発信の影響や責任、意義を考える」授業内容を予定しています。

デジタル知識を深めながら今年度、森町の魅力化、課題解決につながる学習を進めていきます。



最初の講義から皆、真剣な表情



お互いに教え合う場面



■ 大学・企業見学 人気の秘密を発見 学びがいっぱいでした！

6月17日（火）に本校2年生全員と3年生の希望者が、公立はこだて未来大学と蔦屋書店の見学を行いました。この取組は大学や企業の見学・体験を通し、生徒が視野を広げ、卒業後の進路選択の拡大や進路実現のための意欲・実行力につなげることを目的として行っています。

公立はこだて未来大学では、入試・広報担当の方から大学の「学部・学科・コースの紹介」や社会連携の様子、進路先など、大学の特色を説明していただきました。

その後に行った学内見学では、1階から5階まで吹き抜けとなったオープンスペースの魅力的な施設に生徒達も驚きと感動で周囲を見渡していました。

また蔦屋書店では、店長さんから「函館 蔦屋書店のコンセプト」、「課題解決の発想の手順」などをわかりやすく説明していただきました。生徒には消費者側ではなく、地域の視点に立った企業の在り方やウェルビーイングを知る貴重な機会となりました。

森高校ではこのような生徒の「生きる力」につながるキャリア教育、探究学習をこれからも継続的行っていきます。



<生徒の感想>

公立はこだて未来大学では、学んだ分野を広げ、社会に企てていけることがわかりとても勉強になった。また、蔦屋書店では、利益だけでなく、人がよりよく楽しめる時間と空間を提供するための様々な取組を行っていることがわかった。これからの高校生生活では、自分の可能性を広げるためにも、自分の好きな分野をつきつめることも大切にしながら苦手だと感じることに挑戦していきたいと思う。（2年 若狭 干奈）

大学や会社の立地には「なぜそこに建てるのか」、「そこに行く理由があるのか」、「そこでどんなことをするのか」など多角的な考察から次のステップに進んでいくことがわかった。自分が知りたいことや興味・関心のあることを発見し、それを生かす大学に行くためには、どんな勉強をすればいいかを考えていきたいと思った。（2年 福田 智也）



大学施設、店舗施設どちらも利用する側の視点に立った素晴らしい建物でした！

函館の観光シンボルとして制作した「イカロロボット」も見ることができました

■ 中学校との交流学習 砂原中学校3年生が来校してくれました！

7月15日（火）に砂原中学校3年生と本校2年生が探究学習における学習交流を行いました。8月の修学旅行先の仙台で「いかめし」など地元の特産品の販売を計画している中学生が実施前に、昨年、JR特急ニセコ号で同様に車内販売を体験した本校生徒から「販売方法や接し方等について習いたい」という希望があり、今回の交流が実現しました。

発表では本校生徒が5チームに分かれ、それぞれ中学生の前でパワーポイントを使って行いました。中学生はどの発表もとても真剣に耳を傾けてくれ、質疑応答では「初めての方と接する際はどんなことに気をつけたらよいか」、「森町のどんなところをPRしたのか」など、活発な質問も交わされました。1時間という短い時間でしたが、地元の中学生と高校生が、「森町の魅力を広げること」について考える貴重な機会となりました。ぜひ今回の交流をきっかけに、学校間の連携も深めていきたいと思います。

砂原中学校3年生の皆さん、ありがとうございました。修学旅行の素晴らしい成果を祈ります！

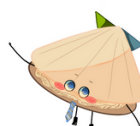


<今後の主な行事>

- 7/18 いのちの安全教室 7/23 薬物乱用防止講話
- 7/24 夏季休業前集会 7/25～8/26 夏季休業期間 7/27 道の駅での販売実習
- 7/30 学校説明会 8/13～15 学校閉庁日 8/25 外国人留学生との交流
- 8/27 夏季休業明け集会 健康アンケート
- 8/28 到達度テスト（1・2年）8/31 第2回高2道看模試

森高 One up!

森高公式noteはこちら



←森高キャラクター
「ほたてん」